令和７年度（２０２５年度）
社会福祉法人いなほ福祉会　ワークショップゆう　事業報告

１．利用登録者数と利用実績（令和８年３月末）

【利用登録者数】　２６名（就労継続支援Ｂ型１６名・生活介護１０名）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	22	21	22	23	19	22	23	21	23	20	18	22	256 日
延利用人数Ｂ型	299	287	309	307	234	272	281	248	291	241	214	285	3,268 人
延利用人数生活介護	183	178	180	191	155	184	197	151	186	130	140	203	2,078 人
１日平均	21.9	22.1	22.2	21.6	20.4	21.5	20.7	19.0	20.7	18.5	19.6	22.1	20.9 人

令和６年度　延利用人数 4,898 人（3521 人, 1377 人）　１日平均 19.1 人

２．職員体制（令和８年３月末）

＜就労継続支援Ｂ型＞

職　種	定　数	現　員
職業指導員	１．３	２
生活支援員		４
目標工賃達成指導員	１	１
合　計	２．３名	７名

＜生活介護＞

職　種	定　数	現　員
生活支援員	２	５
看護職員	１	１
計	３名	６名

＜共通の職員＞

職　種	定　数	現　員
管　理　者（兼務）	１	１
サービス管理責任者	１	１
調　理　員		４
送　迎　員		３
嘱　託　医	（１）	（１）
計	２名	９名

３．　今年度の重点方針

（１）新しい建物に移転しても安心して通所出来るよう、環境変化への配慮を第一優先とします。

４月には、２３日間製造作業を休止し、利用者・職員が一緒に引っ越し作業を行うことで、作業所の移転について理解しやすい機会作りを行いました。環境の変化に戸惑いや不安を感じ、影響を受ける利用者もいましたが、作業再開を少しずつ進め、新しい環境に慣れていけるよう支援をおこないました。その結果、新しい環境が過ごしごしやすい場となり、通所日数が増えた利用者もみられました。

（２）就労、生産活動

〔製パン〕

・新商品の開発と販売を目指していきます。

・販路の見直しや新規販売場所を広げていきます。

新商品の開発や販路の見直しに取り組み、パンの種類は１１種類から１５種類に増えました。移転に伴い、玄関スペースで「ちっちゃなパン屋さん」を始め、注文販売や持ち売り販売に加え、店頭販売にも取り組むことで新たな販売機会につながりました。

〔ゆぅきー〕

・職員体制を整え、安定し製造量を増やせる作業の見直しを行います。

・新規販売場所、販売方法を検討します。

製造時の職員体制を２人体制とし、増産への対応や道具の洗浄・片付けをゆぅキー室内で行えるよう作業環境を整えました。また、道の駅やハイマートでの販売が好調で、急な注文にも対応しながら安定した販売につながったため、既存の販路を中心に取り組みました。

〔わんだ〕

・タイダイ染めの商品開発を積極的に行います。

・販売場所、販売方法を広げ、売り上げ向上につなげます。

・地域のイベントへ積極的に参加し、商品を販売します。

タイダイ染めでは新しい模様に挑戦したほか、ミシンを使用したミニハンカチ等の製作販売を行いました。また、ガーメントプリンターを導入し、新たな創作製品の製作にも取り組み始めました。販売面では、イベント出店に加え店頭での販売やカタログ注文販売にも取り組み、売り上げ向上につながりました。染め物教室についてはニーズがあるものの、公募による開催は１回、その他依頼を受けての開催にとどまりました。

露店販売の営業許可を取り、かき氷屋さん等の飲食販売出店が出来るようにしました。

〔全体〕

・利用者が増えても今まで通り給料が支払えるよう、生産活動での収入を確保出来るようにします。

・就業規則の見直しをおこないます。

生産活動では売上が増加し、黒字で運営することが出来ました。今後利用者数の増員や、障害特性への配慮、通所ニーズの多様化等をふまえ、見直しの必要性について検討を進めました。今後も適切な改定に向けて、さらに検討を重ねていきます。

（３）地域の方々への理解と関係作りの強化

・地域の方々と交流する機会を増やし、障害のある方への理解と作業所の活動を知ってもらえる機会を積極的に作ります。

・地域の方々を対象にした染め物やパン作りの体験教室を開催します。また、タイダイ染めを中心として販売する機会を作ります。

移転前の４月には関係機関向けの内覧会を実施し、６月には地域の方々へのお披露目の機会として「地域交流イベント・よってこ」を開催しました。多くの方が来所し、見学していただき、ワークショップゆうの活動を知っていただく機会となりました。

また、玄関先でのパン販売を開始し、地域の方々に継続して利用していただくことで、日常的な交流や関係づくりにも繋がっています。

地域の方々を対象とした体験教室については１回の開催となりましたが、今後も地域の方に気軽に参加していただける取り組みとして継続･展開させていきたいと考えています。

カイロスロケット打ち上げ見学会場（旧浦神小学校）特別観覧席のお土産に、タイダイ染めハンカチとオリジナルのメッセージを入れ、ワークショップゆうを知っていただく機会となりました。

（４）情報発信

・SMS を活用して、作業所の活動や商品の紹介を定期的に発信し、地域社会や関係者に向けて障害のある方への理解を深め、啓発に繋げていきます。

ブログやインスタグラムを通じて、商品の紹介や事業所での活動の様子を発信しました。特にインスタグラムでは、日々の取り組みや商品の販売情報などをタイムリーに発信することで、地域の方々に広く知っていただく機会となり、事業所への理解や関心を深めていただくことにも繋がりました。

４．利用者への提供サービス

（１）作業支援

安定した製造、作業技術の向上、廃棄を減らす事に重点をおいてすすめました。「工賃向上計画」に基づき、下記のとおり、製パン、製菓事業の充実をめざしました。

＜就労継続支援Ｂ型事業＞

①製パン、製菓事業の充実をすすめました。

・利用者が主体的に働く事を大切にしながら、製造を行ってきました。新商品の開発時には、利用者の意見を取り入れながら進め、販売を行いました。

・新商品として準備をすすめていた、「カレーパン」「豆食パン」「レーズン食パン」「クリームパン」の販売を始めました。

・原材料費の価格高騰に伴い、２０２６年１月～販売価格を見直し１０円～２０円の値上げを行いました。値上げによる顧客離れ等の影響はありませんでした。

②計画通りの内容で作業を行いました。

・パンの製造、販売

・ゆぅキー、メロンビス、フレンチトーストの製造、販売

・製造販売に関する事務作業
・季節のカタログ販売（夏・冬・バレンタイン）

＜生活介護事業＞

① ゆるやかな作業環境を設けました。

・一人ひとりの個性や感性を大切にしながら作業を行いました。作業は、タイダイ染め商品の製造だけではなく、道の駅への納品や材料の買い出し、季節のカタログ販売を取り組みました。

・地域イベントへ積極的に参加しタイダイ染め製品を販売する機会を持ちました。

→地域交流イベント・よってこ、和福まつり、レインボーフェスタ那智勝浦、海の音フェス

・通園事業所の園児や保護者を対象とした染め物教室を開催しました。また、新たな取り組みとして、「放デイほたる」の子どもたちを対象とした製パン体験教室を初めて開催し、楽しみながら作業所の活動に触れてもらう機会となりました。

・ガーメントプリンターをリースし、利用者の描いた絵や文字を製品にプリントし販売出来るようにしました。

②計画通りの内容で作業を行いました。

・染物商品の製作販売、道の駅への納品
・季節のカタログ販売（夏・冬・バレンタイン）
→チラシ準備・配布、商品仕分け、配達、集金等
・休憩タイムの飲み物販売→チケットづくり
・材料や備品の買い出し

＜生産活動実績＞

①就労支援事業・収支実績（就労継続支援Ｂ型・生活介護）

	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績	2025(R7)年度実績
年間売上金額（A）	9，174，040円	9，613，864	10，852，619
年 間 経 費 （B）	9，022，285円	9，582，347	10，447，125
年間利益（A－B）	151，755円	31，517円	405，494

②工賃支給実績（就労継続支援Ｂ型）

	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績	2025(R7)年度実績
平均工賃月額	11，691円 (B型)	12，099円	12，543円
	―	117．9円	120．8円
年間工賃総額	1，784，190円	1，931，000円	1，821，295
年間支払対象者数	180人	186人	173人

工賃支給実績（生活介護）

	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績	2025(R7)年度実績
年間工賃総額	994，630円	1，008，855円	1，092，835円
年間支払対象者数	96人	96人	109人

（2）生活支援

作業所実践や諸行事等での利用者・家族の要望（意見）を傾聴し、利用者主体の作業所運営となるよう取り組み、要望（意見）に対しては迅速な対応を行いました。

①ドヤサー（土曜日の取り組み）・お楽しみ企画

・平日には取り入れにくい余暇活動を通じて、生活体験の幅を広げる工夫をしました。
余暇活動の企画には、利用者の意見や希望を積極的に取り入れていました。

実施月	取り組み内容	参加利用者
４／１９	内覧会 【宇久井・ワークショップゆう】 映画上映会 【佐　野・ワークショップゆう】	２０名
５／　９	移転お祝いパーティ 【宇久井・ワークショップゆう】	２２名
５／２４	つくしんぼ歌謡祭 【那智勝浦町体育文化会館】	２１名
６／２８	地域交流イベント・よってこ 【ワークショップゆう】	２３名
７／１９	流しそうめん 【ワークショップゆう】	１９名
８／１６	希望通所：飯盒炊さん 【ワークショップゆう】	１１名
８／２３	笑音風ライブ 【太地「椰」】 染め物教室 【ワークショップゆう】	１７名
９／１３	井ぶりとわらび餅をつくろう 【ワークショップゆう】	１４名
９／２７	カラオケボックスに行こう 【勝浦カラオケハウス　歌楽】	１６名
１０／１８	町展に出展するする作品作り 【ワークショップゆう】	１７名
１１／７	作業所日帰り旅行／ソラミル・革細工 【串本町・古座川町】	２３名
１１／１５	レインボーフェスタ 【那智勝浦町ブルービーチ那智】	１６名
１２／２０	新東スポーツ大会 【那智勝浦町体育文化会館】	１４名
１２／２６	おとなのクリスマス会　（平日開催） 【ワークショップゆう】	２３名
１２／２７	希望通所：映画上映会 【ワークショップゆう】	１１名
１／２４	サンドウィッチを作ろう 【ワークショップゆう】	１３名
２／２１	速玉大社・カフェそらバイキング 【速玉大社・カフェそら】	１７名
３／１４	カラオケに行こう 【新宮カラオケ DAM】	１８名
合　計	ドヤサー１５日開催／日帰り旅行１日／その他お楽しみ企画２日	３１５名

（ドヤサー令和６年は１５日開催　２８０名／日帰り旅行１日／お楽しみ企画２日）

②その他の取り組み

・ニコサー　毎週水曜日午後の約１時間、作業をしないリフレッシュする時間を設けました。主にストレッチを行い、１週間の中休みとして活用できました。
夏には高津気の川に出かけ、川遊びの取り組みも行いました。

・毎週金曜日午後に希望者に対し、ローソンへの買い物の取り組みを行いました。週末の楽しみや自分で買い物をする機会となっています。

・１１月２９日、３０日に那智勝浦町展に作品展示を行いました。

③障害福祉サービスの活用

・必要に応じて本人や家族と相談支援事業所との仲立ちとなり、「障害福祉サービスの活用」につなげ、ショートステイ（宿泊体験）や余暇、生活面でも豊かな生活につながるようサービス利用調整等を行いました。

④その他

・職員体制では、年度途中に正規職員１名と主任１名が退職し、非常勤を含めた支援職員の半数が経験年数３年未満となる中、職員育成と安定した支援体制の構築が課題となっています。

５．緊急時の対応

７月３０日、カムチャッカ半島付近を震源とする地震に伴い津波警報が発令され、事業所は津波浸水想定区域外であるため、利用者・職員の安全確保のため事業所内で待機対応を行いました。

６．事故発生時の対応

日　付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
12 月 10 日（水）	利用者が嬉しさのあまり職員へ抱き着いた際、双方がバランスを崩して同時に転倒しました。転倒時、利用者が床に左後頭部を打ち出血が確認されたため救急車を要請しました。町立温泉病院を受診し診察・処置を受け、頭部の傷は深いものではなく擦過傷との診断で、経過観察のみとなりました。

※ヒヤリハット４件、事業所車両の自損事故２件（修理対応）

７．虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成　　０名

【虐待案件】　　０件

【身体拘束発生案件】　０件

【不適切支援案件】　　０件

８．苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

９．職員（援助者）の援助技術の向上

（１）職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	１２回開催
・職員会議	→	１２回開催
・個別支援計画策定会議	→	１３回開催
・給食会議	→	３回開催

（２）職員研修の実績報告

【内部研修】

日　程	主　催	研修内容	講　師	参加人数
５月１５日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	志村先生カンファレンス伝達研修	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう主任	１３名
５月３１日	いなほ福祉会	虐待防止・人権擁護伝達研修 後日　伝達研修	人権擁護推進委員	１５名 ２名
６月１３日	全社協	生涯研修課程テキスト　中堅職員編	テキスト研修	１名
８月２１日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	感染を疑う者が出た場合のシュミレーション訓練／「嘔吐物の処理方法について動画鑑賞」	安全管理感染症対策委員	１２名
８月３０日	いなほ福祉会	通園めだかについて知ろう	通園めだか職員	４名
９月１８日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	志村先生カンファレンス伝達研修	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう主任	１２名
１１月１３日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	避難通報装置について 災害時の避難について	植村氏 災害対策推進員	１２名
１２月５日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	食中毒・感染症を予防する手洗い研修	安全管理感染症対策委員	利用者２１名 職員１０名
１２月１１日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	ＢＣＰ（感染症）について シュミレーション訓練	安全管理感染症対策委員	１１名
１２月１５日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	災害時の避難シュミレーション訓練	災害対策推進員	利用者２１名 職員１０名
１月１５日	いなほ福祉会	災害時の医療について	相野谷診療所 森本真之助医師	３名
１月２２日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	志村先生カンファレンス伝達研修	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう管理者	１１名
１月３１日	いなほ福祉会	障害者福祉制度研修 災害時対応のためのエリア別ミーティングについて	合同会社アドバンス　前邦朋氏 災害対策推進員	３名
２月７日	いなほ福祉会	生きにくさと周囲の理解と支援 ～発達に凹凸のある子ども、そしてその大人～	児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」センター長 志村浩二氏	３名
２月１２日	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟゆう	侵入事件・防犯対策について	動画視聴研修 (安全管理感染症対策委員)	１２名

【外部研修】

日　程	主　催	研修内容	講師等	参加人数
５月１７日	わされん	障害者権利条約を和歌山県の隅々に きょうされん運動の振り返り、私たちに問われること	きょうされん専務理事 藤井克徳氏	１名
７月２６日	通園くじら	発達の連続講座	つくしんぼ園 発達相談員 山本翔太氏	４名
７月 28 日 29 日 30 日	ホットライン ワールド	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修・実践研修）	しかくの学校　講師	１名
８月２１日	新宮保健所	給食施設における衛生管理について	新宮保健所 衛生環境課 榎本主査	２名
９月２６日	自立支援協議会	就労選択支援について	和歌山県障害福祉課 向日氏・高塚氏	１名

９月２７日	新東障連	職員研修会 防災訓練（炊き出し訓練）	新東障連役員	１名
１０月１７日 １８日	きょうされん	第４８回全国大会ｉｎ奈良 講演「被爆・戦後８０年障害のある人と戦争を考える」 分科会　働く	 日本被団協　濱住治郎氏 分科会	１名
１１月２２日	ハロー！ネイバーズプロジェクト	地域で支え合う関係づくりフォーラム	アイウィッシュ（株）小池昭雅氏 （株）あおいけあ　加藤忠相氏	１名
１１月２６日	わされん	きょうされん全国大会（報告会） （オンライン）	わされん・報告者	１名
２月 2，３日	和歌山県	強度行動障害支援者養成研修 （実践研修）	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	１名
２月１２日	ホットラインワールド	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修）	しかくの学校　講師	１名
２月２８日	新宮市成年後見サポートセンター	住民向け勉強会 ～終活に向けて大事なこと～	新宮公証役場公証人　三橋豊氏 合同会社アドバンス　前邦朋氏	１名
２月２８日	全障研和歌山県新宮東牟婁サークル	発達セミナー２０２６ ～もしも願いが叶うなら～	 全障研　山口　歩氏	１名
３月　４日	和歌山県 食品衛生協会	食品衛生責任者講習会	和歌山県 食品衛生協会講師	１名